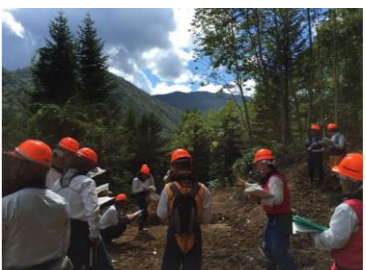


## 平成27年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
森林作業道	森林作業道現地研修会	6月15日	留萌南部森林管理署	小平町（国有林）	国有林	22名	効率的な森林整備の推進のため、森林作業道についての理解と技術の向上に向けた研修を実施	森林作業道作設指導基準について座学を行い、森林作業道作設箇所の現地で検討会を行った後、意見交換を実施した。 路線の選定や勾配、汚濁防止対策、事業者に指導する際の留意点等について、地域コアメンバー及び署の担当者が活発な意見交換を行った。	
					民有林	名			
					事業者	4名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	26名			
作業道上で意見交換									
森林作業道	平成27年度森林作業道作設に関する現地検討会	7月9日	十勝東部森林管理署	本別町（国有林）ほか	国有林	48名	森林作業道の普及定着と品質向上を進めるため、作設技術の向上に向けた現地検討を実施	森林管理局で策定した森林作業道作設に係る「目で分かる指導基準」を用いて、適切な路網配置、作設に当たり留意する点について、署担当者から講義形式で解説した。 現地では、作業道作設前の予定ルートを歩き、ルートの選定にあたり考慮した点について、署担当者と事業者から説明を行った。 意見交換では「作業道の予定ルートを見学する機会はあまりないので良かった」、「作設後の作業道を見てみたい」、「事業者からの説明は同業者として分かりやすかった」等の意見があった。 作設後の検討会は融雪後の平成28年6月頃に予定している。	
					民有林	13名			
					事業者	27名			
					研究機関	名			
					その他	1名			
					合計	89名			
ルートの設定について説明									
間伐	列状間伐現地検討会	8月4日～5日	日高振興局森林室 日高南部森林管理署	新冠町（国有林・道有林・一般民有林）	国有林	12名	高性能林業機械を活用した列状間伐の知識・技術を高めるため、地域の実情に応じた間伐方法の検討等の実施を通じて一般民有林に列状間伐を普及	急傾斜地での伐採方法（人力、機械）や集材方法（機種別）、間伐の種類（帯状）及び侵入した広葉樹の取り扱いなど、低コスト化や作業システムについて現地検討を行い、意見交換を実施した。 座学では、路網の作設・維持経費等の予算や、民有林及び国有林の予算等について意見交換を実施し、路網整備の必要性について検討を行った。	
					民有林	22名			
					事業者	名			
					研究機関	1名			
					その他	名			
					合計	35名			
帯状間伐について説明（国有林）									
間伐	労働安全に配慮した間伐方法現地検討会	9月14日	後志総合振興局森林室 後志森林管理署	黒松内町（国有林）	国有林	12名	森林施業の低コスト化の推進と林業における労働災害の防止のため、列状間伐を地域に普及	列状間伐実施箇所（道有林）において、間伐方法・かかり木防止効果等について一般森林所有者を交えて意見交換を実施した。 意見交換では、作業機械が入るための伐採幅や伐採率と間伐効果について意見が交わされ、列状間伐と北海道型作業システムを推進していくことを確認した。	
					民有林	28名			
					事業者	15名			
					研究機関	名			
					その他	3名			
					合計	58名			
国有林における作業基準等の説明									
森林作業道	森林作業道作設評価要領に伴う現地検討会	9月15日	十勝西部森林管理署	広尾町（国有林）	国有林	16名	地域の事業者の森林作業道作設技術向上を図るため、森林作業道作設状況確認表による審査基準の考え方等について現地検討を実施	森林作業道作設状況確認表に基づき、審査基準を確認した後、良い事例、悪い事例など「目でわかる指導基準」を活用しながら、現地の森林作業道で検討した。	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	16名			
ヘアピンカーブの検討									



分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
森林作業道	森林作業道作設技術向上に向けた現地検討会	11月9日～10日	北海道森林管理局 資源活用第二課	札幌市（国有林）	国有林	20名	効率的な森林整備の推進のため、繰り返し使用に耐える森林作業道作設技術の向上に向けた現地検討会を実施	繰り返し使用に耐える森林作業道作設するため、座学では優良事例を紹介し、縦断勾配、ヘアピンカーブ、排水処理方法等を再確認して、意見交換を行った。現地では、既設集材路と森林作業道の比較検討や、事業体への指導方法などの検討を行った。その後の意見交換では、路線の配置やヘアピンカーブの作設方法に関して質疑応答があり、森林作業道作設技術への理解が深まった。今後も技術向上に向けた取り組みを行うこととなった。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	20名			
現地での解説									
間伐	十勝地域林政連絡会議（列状間伐に関する現地検討会）	11月16日	十勝西部森林管理署(事務局) 十勝東部森林管理署 十勝西部森林管理署東大雪支署 十勝総合振興局森林室(事務局) 十勝総合振興局林務課	豊頃町（道有林）	国有林	9名	効率的な森林整備を普及するため、地域林政連絡会議で北海道から要望を受けた2回目間伐を列状間伐とすることの民有林への普及を実施	道有林で実施された2回目間伐を列状間伐した箇所での現地検討会を実施した。間伐結果の説明があり、意見交換では「道有林での普及は行われているが、私有林では高値の販売のために定性間伐が行われており、列状間伐の普及は依然として課題である。」等の意見が出された。	
					民有林	6名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	15名			
間伐箇所での検討会の様子									
間伐	列状間伐のモデル林見学会	11月18日～20日	渡島檜山地域林政連絡会議（渡島森林管理署・檜山森林管理署）	厚沢部町（民有林） 乙部町（民有林） 八雲町（民有林）	国有林	11名	列状間伐（搬出間伐）を地域に普及するため、民有林へ設置した列状間伐のモデル林をどのように活用して森林所有者や林業事業体へ普及するか意見交換を実施	渡島檜山地域林政連絡会議のメンバーを対象に、作業道配置状況やそれに合わせた伐採の取り方、搬出等の作業仕組みについての説明を行い、モデル林を活用した森林所有者への説明として効果的か検討した。意見交換では、「森林所有者に説明するには、列状間伐のメリットや定性間伐との経費差などわかりやすい資料（リーフレット等）が必要になる。」との意見が出された。	
					民有林	21名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	32名			
列状間伐のモデル林									
森林作業道	森林共同施業団地における森林施業等現地検討会	11月26日	網走中部森林管理署 置戸町	置戸町（国有林）	国有林	6名	効率的な森林整備を推進するため、置戸町と協定を締結している森林共同施業団地において、列状間伐・森林作業道作設・低コスト作業システム等の普及に向けた現地検討会を実施	国有林の列状間伐地において、「森林作業道作設マニュアル」を用いて現地で森林作業道の説明を行い、作設方法、作業仕組み等について現地検討を行った。また、実際にフォワーダ集材の作業を見ながら人工林における低コスト作業システムについて意見交換を行った。意見交換では「国有林の作業現場を見る機会があまりなかったが、効率的な作業仕組を直接見ることができて参考となった。」との感想があった。	
					民有林	4名			
					事業体	2名			
					研究機関	名			
					その他	4名			
					合計	16名			
フォワーダによる集材									